

**製品名: TBK1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe04145**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 84 kDa; Observed MW: 84 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TBK1
別名	TBK1; NAK; Serine/threonine-protein kinase TBK1; NF-kappa-B-activating kinase; T2K; TANK-binding kinase 1
遺伝子 ID	29110
SwissProt ID	Q9UHD2
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

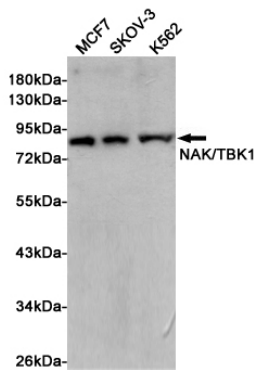
**背景**

NF- $\kappa$ B (NFKB) タンパク質複合体は、I- $\kappa$ B (IKB) タンパク質によって阻害され、IKB は NFKB を細胞質内に捕捉して不活性化します。IKB キナーゼによる IKB タンパク質上のセリン残基のリン酸化は、ユビキチン化経路を介して IKB タンパク質を破壊し、NFKB 複合体の活性化と核への移行を可能にします。

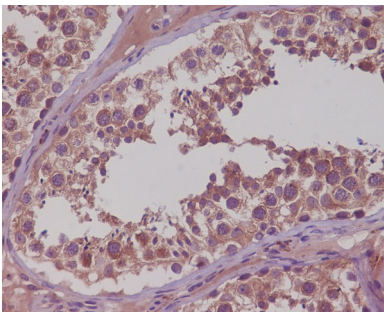
## 研究分野

シグナル伝達

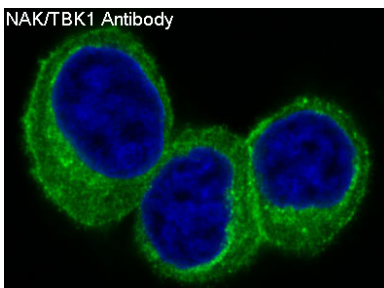
## 画像データ



TBK1 抗体を使用した MCF-7、SKOV-3、および K562 溶解物中の TBK1 のウェスタンブロット分析。



NAK/TBK1 (Nterm) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



NAK/TBK1 (Nterm) 抗体を使用した MCF-7 の TBK1 の免疫蛍光分析。